

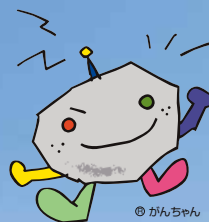


岩手大学 2014年度

# シニアカレッジ

IWATE UNIVERSITY SENIOR COLLEGE 2014

イーハトーヴの学舎—三陸ジオパーク



蝋燭岩



橋野高炉跡



浄土ヶ浜



たろう観光ホテル

## 三陸復興

### 2014年9月3日水~9日火

- 主催 国立大学法人 岩手大学
- 共催 盛岡市、宮古市、釜石市、大槌町
- 企画協力 一般社団法人 おらが大槌夢広場
- 後援 岩手県、三陸ジオパーク推進協議会、公益財団法人 岩手県観光協会  
公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会  
一般社団法人 宮古観光文化交流協会、釜石観光物産協会



# 岩手大学 シニアカレッジ2014

岩手大学シニアカレッジは、岩手大学と岩手県内の自治体や各地域の方々が連携して実施する滞在型生涯学習プログラムです。「学びたい」という動機があれば、どなたでも参加できます。年齢制限や入学試験はありません。

大学構内の専用教室での講義やフィールドワークなどを通じて、受講生同士の交流、地元、学生たちとの出会いの場ともなります。豊富に経験を積まれたこの時こそ、学べる、学び直せるという楽しみを存分に味わってみませんか。



## 岩手大学シニアカレッジの特徴

「何かの機会に学び直したいと思っていた」、「前々から知りたいと思っていた」など、本格的に学びたいというお声を良くお聞きます。岩手大学は、皆様の向学心にお応えしたいと思い、滞在型生涯学習事業として、岩手大学シニアカレッジを企画しました。

岩手大学シニアカレッジに入学された皆様は、「岩大(がんだい)生」として毎日岩手大学に通学して学んでいただくこととなります。そこで、大学教員や地域の方々に講師に授業を受け、正に学生時代に戻ったような毎日を過ごしていただくこととなります。もちろん、学生と同じように学生食堂や図書館、大学生協などの施設を利用できますし、図書の貸し出し(無料)も受けられます。

カリキュラムは、岩手大学の研究成果と「いわて」の地域性を加味した内容とし、岩大キャンパスを飛び出す学外授業もあります。

今回のテーマは、『三陸ジオパーク』です。「三陸」とは、「陸前国」、「陸中国」、「陸奥国」の3つの「陸」がつく地域の総称です。シニアカレッジでは、古生代から中生代の多様な地質やリアス式海岸、近代日本の産業を支えてきた鉱物資源、次世代に語り伝えて行くべき震災遺構など豊富なジオサイトに触れていただきながら、防災についても学んでいただく授業としました。

もちろん学外に飛び出すフィールドワークもあります。釜石市では世界遺産暫定リストに記載されている『明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域』の構成資産となっている「橋野高炉跡」を見学、大槌町と宮古市田老町では震災遺構を学習します。 ※宮古駅から田老駅までの間は、三陸鉄道に乗り移動します。

今回は、特にこれまでとは違った岩手の魅力に触れられ、皆様の向学心をきっと満足していただけるものと確信しております。「イーハトーヴの学舎 岩手大学キャンパス」で皆様をお待ちしております。

## お申し込みから受講まで

- 岩手大学シニアカレッジ事務局へご連絡ください。参加申込書をお送りいたします。
- 参加申込書に必要な事項をご記入の上、岩手大学シニアカレッジ事務局宛に郵送またはFAXでお申し込みください。
- ※ 参加申込書到着後、シニアカレッジ事務局から開講までの案内書をお送りします。申し込み後、10日経っても案内書が届かない場合には、お手数ですが電話連絡をお願いします。
- ※ 先着順に受付します。定員になり次第申し込みを締め切ります。

- 受講料 70,000円(税込・1泊1食込)
  - ※ この事業は、国立大学法人岩手大学の収益事業ではありません。
  - 受講料に含まれるもの  
全13講義受講料、入学式、オリエンテーション、学内施設利用、移動バス等料金、授業中での各種体験料、卒業式
  - ※ 9/6(土)の宮古市内の宿泊費(1泊1食(朝食))が含まれます。
  - 受講料に含まれないもの  
上記以外の宿泊・滞在費、ご自宅～岩手大学～ご自宅までの交通費



- 特別補償  
本学は、シニアカレッジ期間中について、国内旅行傷害保険に加入します。お客様がシニアカレッジ参加中に急激かつ偶発な外来の事故により、その身体または手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲内において、補償金が保険会社から支払われます。
  - ・死亡後遺障害 9,680万円
  - ・入院保険金日額 5,000円
  - ・通院保険金日額 3,000円
  - ・携行品損害 10万円(限度額)
- 国内旅行保険への加入について  
お客様が事故に遭われた場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難である場合があります。このことから、お客様ご自身で十分な額の国内旅行保険に加入されることをお勧めします。

# 岩手大学キャンパスのご案内



**岩手大学図書館**  
二階の専用教室が通常の講義会場となります。



**岩手大学正門**



**農業教育資料館**  
旧盛岡高等農林学校時代の本館です。



- 岩手大学へのアクセス**
- バス(盛岡駅前バスターミナル11番のりば)
    - ◎岩手県交通バス 駅上田線  
乗車…「松園バスターミナル行き」 下車…「岩手大学前」
    - ◎岩手県交通バス 駅桜台団地線  
乗車…「桜台団地行き」 下車…「岩手大学前」
  - タクシー利用 盛岡駅から約2km 約10分
  - 徒歩 盛岡駅から約25分



**宮古セントラルホテル熊安**  
宮古市の中心街にあるビジネスホテルです。宿泊する部屋は全室洋室シングルとなります。ベッドはセミダブル。バス・トイレ付となっています。



**橋野高炉跡**  
釜石市の中心部から車で50分ほどの所にある盛岡藩士の大島高任が建設した洋式高炉で、現存する洋式高炉としては日本最古です。橋野高炉跡は、明治日本の産業革命遺産の8つある構成支援エリアのうちの1つとなっています。



**たろう観光ホテル**  
たろう観光ホテルは、1986年に開業した鉄筋コンクリート造6階建ての観光ホテルでした。多くの観光客が訪れ賑わっていましたが、震災による大津波により2階から下のフロアが全壊、3階部分も多くの床が抜け落ちました。現在は、国の震災遺構第一号に指定され、保存に向けた準備が進められています。



# スケジュールと 講義内容



- 講義7～講義10は、全て学外会場となります。9/6(土)は、釜石市、大槌町、宮古市へと移動し、その日は宮古市内に宿泊となります。その際の宿泊料(朝食込み)は、受講料に含まれています。
- 学外会場への移動バス料金は、受講料に含まれています。

スケジュール	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
1 9/3(水)	受付						入学式	休憩	講義1 東日本大震災から何を学び、どう伝えるか 岩手大学長 堺 茂樹	オリエンテーション	休憩移動	おでんせパーティー ~19:30
2 4(木)	講義2 エネルギー問題を解決する超電導と熱電変換 岩手大学工学部 教授 藤代博之	休憩	講義3 啄木が見た三陸の風景と海を詠める歌 啄木ソムリエ 山本玲子氏	昼休み	講義4 盛岡高等農林学校と宮沢賢治 岩手大学人文社会科学部 教授 山本昭彦	放課自由時間						
3 5(金)	講義5 2011年東北地方太平洋沖地震 岩手大学教育学部 教授 土井宣夫	休憩	講義6 平泉地名の源流を訪ねて—奥州藤原氏と平泉思想— 岩手大学平泉文化研究センター 特任教授 伊藤博幸	放課自由時間								
4 6(土)	講義7&8 フィールドワーク 三陸ジオパーク① 橋野高炉跡 釜石市教育委員会 文化財調査員 森一欽氏 大槌町震災遺構 一般社団法人 おらが大槌夢広場	夕食・懇親会 (宮古市泊)										
5 7(日)	講義9&10 フィールドワーク 三陸ジオパーク② 浄土ヶ浜(船上含む) ジオパーク推進員 関博充氏、斎宏行氏 田老町震災遺構 岩手大学地域防災研究センター長 南正明											
6 8(月)	講義11&12 防災ワークショップ(講義90分、クロスロードゲーム180分) 岩手大学地域防災研究センター 教授 越野修三	放課自由時間										
7 9(火)	講義13 グローバリゼーション下における日本農業・地域農業の基本問題 岩手大学副学長 横山英信	休憩	卒業式	休憩移動	どんとはれパーティー							

**講義 1**

**東日本大震災から何を学び、どう伝えるか**

岩手大学長 堺 茂樹

防災を考える上では経験に学ぶことは基本ですが、経験のみに頼るのはむしろ危険です。それは、自然界では似たような現象は何度も繰り返しますが、全く同じ現象は二度と起こらないからです。東日本大震災の教訓を今後の防災に活かすためには、どこが今回の地震津波に固有な現象であり、どこが普遍的なことなのかをしっかりと区別して、後世に伝えていかなければなりません。東日本大震災とは何だったのかを、振り返ってみましょう。

**講義 2**

**エネルギー問題を解決する超電導と熱電変換**

岩手大学工学部 教授 藤代 博之

人類にとっての大きな問題であるエネルギー問題に関する2つの技術について、実験を交えながら説明します。1つは超電導技術で、マイナス200℃以下の超低温で起こる電気抵抗がゼロになる不思議な現象です。電力輸送やリニアモーターカーに用いる強磁場発生に関する最近の研究例を紹介し、2つめは熱電変換技術で、廃熱を電気エネルギーに変換することで新しい再生可能エネルギーの将来性を紹介します。

**講義 3**

**啄木が見た三陸の風景と海を詠める歌**

啄木ソムリエ 山本 玲子氏

石川啄木は明治33年夏、盛岡中学のクラス旅行の時と明治41年4月に北海道から船で上京する時に三陸の風景を見、人々と触れ合いました。日記には「山は動かざれども、海は常に動けり」と記し、海に自己の漂泊の魂を重ねて表現しています。そして海を詠んだ歌をたくさん作り、歌集『一握の砂』の特色となります。啄木と海、三陸の風景、そして人々との関わりを通して、真と美と生命を追求したいと思います。

**講義 4**

**盛岡高等農林学校と宮沢賢治**

岩手大学人文社会科学部 教授 山本 昭彦

宮沢賢治は大正4年から3年間ここ岩手大学で勉学に励み卒業しました。ただ当時は農学部とは言わず、盛岡高等農林学校と言いました。反対する父を押し切って入学したのは寒冷地での農業を研究するために全国でも最も早く開校された高等農林学校。そこには最新の学問と全国から集まってきた俊秀との触れ合い、刺激がありました。気むずかしいことで有名だった関豊太郎教授にも頼られていたようです。詩人・宮沢賢治を形成した学生時代に触れてみましょう。

**講義 5**

**2011年東北地方太平洋沖地震**

岩手大学教育学部 教授 土井 宣夫

2011年東北地方太平洋沖地震は、日本の地震学誕生以来経験のない超巨大な地震でした。同時にこの地震は、これまでにない高精度・高密度の観測がなされた巨大地震でもあります。この地震の特徴は何か、巨大地震は日本列島にどのような影響を地形や地質に及ぼしてきたのか、三陸地域の情報からこの地震は理解できるのか、などについてお話したいと思います。

**講義 6**

**平泉地名の源流を訪ねて—奥州藤原氏と平泉思想—**

岩手大学平泉文化研究センター 特任教授 伊藤 博幸

平泉。私たちは「ひらいずみ」と言っています。でもそのルーツは中国の「へいせん」にあると言ったなら、皆さん、エッ何それ!と思うでしょう。講義では奥州藤原氏の歴史の一齣を平泉地名をトピックに皆さんと考えてみたいと思います。はじめに平泉地名の由来とその意味を中国に探り、次いで奥州藤原氏が現在の地に平泉と命名した意図を考えます。つまり、藤原氏が命名する前は、この地は「ひらいずみ」と呼ばれていなかったのです。

**講義 7・8**

**フィールドワーク 三陸ジオパーク①**

釜石市教育委員会 文化財調査員 森一欽氏 一般社団法人 おらが大槌夢広場

三陸ジオパークは、青森・岩手・宮城の3県からなる日本最大規模のジオパークで、2013年9月に日本ジオパークとして認定されました。三陸ジオパークは、5億年におよぶ大地の歴史と震災を次代に伝えることが特徴となっています。釜石市にある橋野高炉跡を訪れ近代製鉄発祥について学習した後、大槌町において震災遺構について学びます。

**講義 9・10**

**フィールドワーク 三陸ジオパーク②**

岩手大学 地域防災研究センター長 南 正明 ジオパーク推進員 関博充氏 斎 宏行氏

宮古市にある浄土ヶ浜は、流紋岩からなる白い岩肌と自然がつくり出した美しい造形が特徴で、国の名勝地のひとつとなっています。ロウソク岩や潮吹穴などを見学した後、浄土ヶ浜周辺のジオサイトについて学びます。その後は、三陸鉄道に乗って田老町まで移動し、X型防潮堤などの宮古市田老の震災遺構について学びます。

**講義 11・12**

**防災ワークショップ**

岩手大学 地域防災研究センター 教授 越野 修三

3・11の東日本大震災を契機に地震、津波による災害ばかりではなく、台風による水害も多く発生してきている現在、防災に関する関心・意識が高まっています。始めに「大災害時の対応と教訓」についてお話した後、みなさんには、クロスロードゲームを体験していただきます。クロスロードゲームは、防災学習教材のひとつで、災害が発生した時の対応を自分の課題としてアクティブに考え出すことができます。災害の対応へは必ずしも正解があるとは限りません。この防災ワークショップを通じて、防災への意識が高まっていただければと願っています。

**講義 13**

**グローバリゼーション下における日本農業・地域農業の基本問題**

岩手大学副学長 横山 英信

日豪EPA(経済連携協定)交渉やTPP(環太平洋経済連携協定)交渉など、今、日本農業はかつてないグローバル化の波に洗われようとしています。これに対して、コスト低減のための規模拡大、高付加価値の実現を目指した6次産業化、高品質を基にした海外輸出戦略などが唱えられていますが、それだけ将来の展望は開けるのでしょうか。現在の日本農業・地域農業の基本問題を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

お申し込み・お問い合わせは



国立大学法人 岩手大学

岩手大学シニアカレッジ事務局  
(岩手大学地域連携推進機構内)〒020-8551 岩手県盛岡市上田四丁目3番5号  
TEL.019-621-6492、6852 FAX.019-621-6493  
E-mail renkei@iwate-u.ac.jp

## 【募集要項】

- ①募集人員 30名  
 ②最少実施人員 25名  
 ③開催期間 2014年(平成26年)9月3日(水)～9月9日(火)  
 ④開催場所 岩手大学(盛岡市上田三丁目18番8号)  
 ⑤参加資格 学習意欲をお持ちの方(年齢制限、入学試験ともありません)  
 ⑥受講料 70,000円(消費税込み、1泊1食(朝食)込み)  
 ※この事業は、国立大学法人岩手大学の収益事業ではありません。
- ⑦受講料に含まれるもの  
 全13講義受講料、入学式、オリエンテーション、学内施設利用、移動バス等料金、授業の中での各種体験料、卒業式  
 ※9/6(土)の宮古市内の宿泊費(1泊1食(朝食))が含まれます。
- ⑧受講料に含まれないもの  
 上記以外の宿泊・滞在費、ご自宅～岩手大学～ご自宅までの交通費
- ⑨お申し込み方法  
 岩手大学シニアカレッジ事務局へご連絡ください。事務局より参加申込書をお送りします。  
 その申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。
- ⑩中止  
 申し込みが最少実施人員に達しない場合は、シニアカレッジを中止することがあります。  
 中止の決定は、シニアカレッジ開催日の30日前に行い、シニアカレッジ事務局から皆様にご連絡申し上げます。

## 【個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は、国立大学法人岩手大学によるシニアカレッジ関係の各種案内、大学情報、旅行・観光情報やその他の生活関連情報をご提供するために使わせていただきます。それらの目的以外に使用するには、事前にお客様に通知して同意をいただきます。  
 また、ご提供いただいた個人情報は慎重に管理し、紛失、漏洩等を防止するために、完全管理を講じています。

## 【受講のご案内】

- シニアカレッジ申し込み方法  
 ●シニアカレッジ事務局へ申込書を郵送してください。申込書到着後、シニアカレッジ事務局より「岩手大学シニアカレッジのお手続きについて」をお送りします。お申し込み後、10日たっても案内書が届かない場合には、お手数ですがお電話ください。
- シニアカレッジ申込上の注意  
 ●受講のお申し込み受付は、先着順とさせていただきます。
- お支払い方法は、金融機関への振り込みとなります。  
 ●受講料振込の際の手数料は、お客様の負担となります。  
 ●受講料のお支払いは、請求書をお受け取り後、1週間以内にお願いたします。  
 ●受講料は、すべて消費税を含む料金です。
- キャンセル  
 ●キャンセルの場合は、電話でご連絡ください。シニアカレッジ開始日以降のキャンセルによる受講料の返金はいいたしません。  
 ※Eメールでのキャンセルの受付は一切いたしませんのでご注意ください。  
 ●キャンセルの場合には、規定の取消料及び返金手数料(振込手数料)を差し引いてご返金します。
- シニアカレッジの変更  
 ●講師の緊急の都合等による場合、中止・延期・時間変更・時間短縮・別の講師の代替えとなる場合がありますので、予めご了承ください。
- その他  
 ●大学キャンパス内では、全面禁煙となっております。  
 ●貴重品は必ず手元におき、盗難・紛失にはご注意ください。